



そばアレルギー (はざま隆治)

一二の作品を完成させるのにどれだけ時間をかけ、思いを込め、観賞する人たちの心を揺さぶり何かを感じてもらうために作品を仕上げていく努力をされていることに心打たれます。これからも頑張ってください。今後は、一点一点にそれぞれの良さを見つけたら、作者が時間をかけ苦労や楽しみながら描いていることに心を留め、さらに、作品を完成した時の何ともいえない気持ちを中心にとどめながらしっかりと観賞していきたいです。(菅野浩市)

先般彫刻展で怪入彫加橋中だったが、葉石効なく7月6日に72歳の生涯を終えた。初盆を迎え、戦争のない平和な毎日でありたいと願っている。(沖縄市)

吹き荒れる「解散風」  
森友・加計学園は「突風」に耐えられま  
すかね  
安倍首相殿  
一国民  
(小緑・ミーガンチョー)

# ター

換等が容易にな  
の学習支援機器  
あたつては、事  
主による視機能  
個々の的確な実  
いた授業が行わ

いる。各授業で  
単眼鏡を使用し  
書器を使用した  
可能である。  
レット型の情報  
たICT教育も  
入れ、文字のサ

さらに本校の教員は、視覚 援学校のほか、普通学校での  
障害に関する指導についての 一般学級もしくは通級教室で  
専門性が高く、視力に頼らず 「合理的配慮」の下、弱視の児  
に授業ができるよう日々研修 童も学べるようになった。前  
を積み重ねている。今年の3 述のタブレット型情報端末の  
月には朗報に沸いた。普通小 利用は、その合理的配慮の一  
学校から本校小学部に転入し つとして提供されている。ど  
た弱視の児童が本校の中学部 の学校で学ぶか本人の意志に  
まで学び、その後県立開邦高 による選択が広がったことは共  
校へ進学。そして今年、筑波 生社会を実現する上で当然と  
大学へ見事現役で合格した。 いえよう。多様なシステムの場  
そこに至るまで、本校と開邦 で、そのニーズに応える支援  
高校とで指導等に関しての情 の保障が肝要で、長い伝統の  
報共有があり、大学受験の際 中で培ったノウハウなど、本  
しても、注意事項についての 校を専門性の拠点として位置  
確なアドバイスを本人へ本校 づけていけるようセンター校  
教員が行っていた。 としての役割を肝に銘じたい。  
障害者差別解消法の施行に (県立沖縄盲字学校校長、那  
より本校のような視覚特別支 覇市、55歳)



東恩納 厚

東恩納組 代表取締役会長

## 南風

### 海を愛したひと

潮騒が聞こえる。  
眠れぬ身を夜具に包み、  
耳を澄ます。大きくそして  
小さく、波が泣いている。  
波音は、過去へと私を誘う。  
海を愛した男がいた。  
元さんと云う。  
父親がいない彼は、私の  
父を心の奥底から慕ってい  
た。  
今日は、彼の命日である。  
毎年、仲間と懇話会を行  
う。ささやかな集いである  
が、彼の魂を強く感じるひと  
ときである。彼の好きだっ  
た菊の露ブランを飲む。  
彼の仕事は鉄筋工事であ  
る。今でこそ、この仕事の  
重さを知るが、当時は些か  
も関心がなかった。ただ、  
彼と海へ行くことが楽しか  
った。友人が多く、決まっ  
て夜は宴会になった。漁師  
や公務員など様々な人が集  
った。  
医師を辞めた今の私を彼  
が見たら、何て言っだろう。  
何も言わずに、微笑んでく  
れるだろうか。  
医師を辞めることに、  
躊躇いが無かったと言えは  
ない。

嘘になる。心の天秤が経営  
に傾き、偏に両立が出来な  
かっただけである。医師が  
兼業するなど、土台無理な  
話である。医学の勉強が疎  
かになった者に、医師の資  
格がある筈も無い。医師の  
仕事とは、斯くも厳格であ  
る。どちらかの選択を迫られ  
た時、医師の仕事を決めた  
と云うのが、正直な心境で  
ある。父を愛するが故に今  
が在り、経営に魅了された  
私が居る、それだけである。  
優れた品質の建築物を創  
るには、元さんのような技  
術力の高い業者と、手を携  
えねばならない。また、彼  
らを導く多くの優れた現場  
代理人を擁することが企業  
価値に繋がる。  
私は、より善き明日に向  
けて、今日も現場を廻り、  
技術者を育て、協力業者と  
語らう。  
やってみせ  
言って聞かせて  
させてみせ  
褒めてやらねば  
人は動かし  
五十六

投稿規定 声・ネットワーク400字、論壇1000字、ティータイム600字。住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記。〒900-8525 那覇市天久905。原稿は琉球新報社オピニオン係に郵送。ファクス098(865)5234、メールkoe@ryukyushimpo.co.jp 問い合わせは同係 ☎098(865)5175。他紙との二重投稿は厳禁。掲載の可否についての問い合わせには応じかねます。「ろそっぱち」は社会部ファクス098(865)5222。